

YIA 会員だより 2021年11月号

発行 ; 吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

第201号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>



【11月以降の活動予定他】

※国際交流バスツアー：11月21日(日)

行先：四国水族館、金刀比羅宮

※国際理解講座 12月4日(土)

14時～15時半の予定

◆浴衣着物着付け体験会

10月10日(日)に吉野川市文化研修センター多目的ホールにて、外国人向けに「浴衣・着物着付け体験会」を開催しました。



浴衣・着物を着た女性は17名。出身国は、ベトナム、インドネシア、タイ、ミャンマー、モンゴル、中国の6か国。着付け指導に、小川和美さん、渡部真弓さんと、YIAの安部正美さん、乾喜美子さんが応援参加してくださいました。小川さんと渡部さんからは、あでやかな打掛14着、羽織袴3着、鬘3着を用意していただき、YIAは浴衣19着を準備しました。

どの着物を着るかは、抽選で公平に選びました。打掛は、色や模様があでやかでとてもきれいでした。全員浴衣や着物を着ることができ、皆さんは大喜びで、スマホでお互いに何枚も写真を撮っていました。



※写真撮影を担当された日本語教室講師の高田さんからメッセージを頂きました。

◆浴衣着物着付け体験会に参加して 高田栄治

吉野川市国際交流協会の主催する「日本語教室浴衣着付け体験」を見学させて頂いた。

5年以上も触ってなかったカメラを持ち出してみた。

打掛を上に着るので浴衣の裾は垂らし気味に着付け。なるほどと思ったのが打ち掛けを自分の感性で着こなすセンス。

多分今の日本の若い子も負けてないと思うが、なかなかのもんだ。

舞踊の披露もあり楽しい催しだった。



◆研修途中報告①

横山美津子

今年の9月から文化庁普及事業の「生活者としての外国人」に対する日本語教師初任研修に参加受講しています。

全国から104人がZOOMで参加し、12月まで毎週土曜日18回あります。日本語を教え始めたばかりでわからないことがたくさんあるので、色々授業に役立つヒントが欲しいというのが参加動機でした。



この報告を書いている時点でもう6回が終了しました。「日本語教育を取り巻く現状と変化」「多文化共生施策と地域日本語教育」「地域における日本語教育の役割」など今のところは、レッスンで使う具体的なノウハウではなく、いわゆる何のための日本語教育かという根本にある理論から攻めている感じです。

目指すところの多文化共生とは、「国籍や民族の異なる人々が互いの違いを認めあい対等な関係を築こうとしながら生きていける社会」です。

言語教育の基本的理念は、

- ① 言語の習得は、あくまで社会により深く参加するための手段である。
- ② 言語知識を持つことより、その知識を使って何ができるかが大事である。
- ③ 母語話者が話すような日本語を最終ゴールとしない。多様な日本語を尊重する。

基本的なゴールが確認できたことは、今のところ大きな収穫でした。

◆YIAバスツアーのご案内

すでにご案内しておりますとおり、11月21日(日)にバスツアーを開催します。昨年はコロナの影響で県外には行けませんでした。今年もコロナの感染が続いているので、対策を行ったうえで密にならないようにバス2台に分乗し、香川県の四国水族館・金比羅宮を回ります。

吉野川市に住む外国人の方が多数参加します。晩秋の讃岐道を巡りながら、小さな国際交流を楽しみませんか。

詳しくは交流部 横山まで (080-3162-9221)



◆日本語支援ボランティア養成講座

in とくしま (オンライン開催)のご案内

徳島県国際交流協会では毎年、外国人に日本語を教えるボランティアのための養成講座を開講しています。

全9回のコースですが、今年はオンライン形式で参加しやすくなっています。

日本語教育に興味のある方、参加してみませんか。

詳しくは萩森まで (070-5543-2842)



YIA 定例活動 他

◆日本語教室：日本語で教えています。講師募集中！

【鴨島教室】 毎週日曜日 13:30~15:30 【山川教室】 毎週日曜日 10:00~11:30

お問合わせ先：萩森健治 ☎0883-24-8653